

与論島の活性化のために

鹿児島大学 法文学部経済情報学科1年 学籍番号 1116501074 肥後賢明

私は今回の講義で初めて与論島を訪れた。私がテレビで見たようにエメラルドグリーン
の海や美しい海岸線の広がる、自然豊かな小さな島であった。その美しい海を活かした観
光が重要な役割を担っていることも今回の講義で理解できた。与論島を活性化させるため
にいくつか私が考えたことがある。

1つ目に私が考えたのは、お土産の開発である。特に食べ物の分野のお土産である。そ
の理由は、その地域おすすめの食べ物がお土産の定番になっていると私は考えるからであ
る。多くの観光地が「お土産といたら〇〇！」というような誰もが口にする商品が存在
し、そういったものの多くが食べ物ではないかと思う。多くの観光地ではそういった商品
が商業を活性化させているのではないかと私は考える。私もお土産として与論島で何か食
べ物を買おうと考えていた。講義の中で「与論島のおすすめのお土産は何か」という質問
が上がったときに、いくつか食べ物の名前がでてきたが、「絶対にこれはおすすめ」という
ような商品があるようには感じられなかったし、知人にも与論島出身者がいたが「与論島
にいたらこれがお土産として定番」というような食べ物を聞いたことがなかった。また
私がお土産屋を訪れたときも「これは絶対に買った方がいい」「与論島名物！」といったよ
うな食べ物が見つけれず、どれを買えばいいのかまったくわからなかった。箱に与論島
と書かれたお菓子を買って帰ったが、これは与論島らしさのあるお土産なのかと疑問に思
った。私は与論島の特産品で作られており、もっと与論島全体で全面的に推すことのでき
る商品が必要だと思う。たしかにお土産として推されていたモリング麺も与論の特産を活
かした食べ物ではあるが、まだまだ知名度は低いと思うし、正直値段が高いため自分たち
のような学生には少し買いつらく、何よりも配りにくいため多くの人に買って帰ることが
難しい。与論島自体の知名度は最近テレビで特集があるので上がってきていると思うので、
今後は訪れた後のケアももう少し考えるべきではないかと思った。与論島の特産を活かし
たお土産としての有名な食べ物があれば、きれいな海だけでなく飲食物についてももっと
詳しく取り上げられて与論島の知名度は上がるし、お土産を配るときも特産品を使ってい
れば与論島について説明しやすくなり与論島について知ってくれる人も増えるのではない
かと思う。また、有名な食べ物があれば初めて与論島に来た人でも安心してお土産として
いくつか買うことができるので、与論島側もお土産から安定した収入が少しは期待でき
ると思う。全国的に有名な食べ物を作ることができれば、その商品をもう一度買うために与
論島を再び訪れてくれる可能性もあると考える。また、現在では輸送手段も発達している
ので全国的に知名度が上がればお取り寄せという形で、与論島を訪れていない一般の人にも
与論島の商品を売ることができるのではないかと思う。そういうわけで私は与論島の特

産を活かした食べ物のお土産を有名にして、全国的にも広めることができれば商業が発展するのではないかと考える。また、現在では美容食としてピタヤがハワイで注目されており、日本でも流行するのではないかとされているので、流行に便乗してピタヤの生産を増やしたり、ピタヤを用いた商品開発をしてもいいのではないかと思った。

2つ目に考えたのは、交通マナーの改善である。与論島は南国の穏やかな島というイメージがあったが、あまり安全確認もせずものすごいスピードで飛ばしてくる車が多かった。与論島に初めて来て道もよくわからない私には過ごしづらかったし、道も狭いため自転車で通行していて何度か怖い思いをした。自転車を保護している感じがなかった。正直レンタカーで運転したいとも思えなかったし、せっかく自転車の貸し出しをしてもものんびりとサイクリングができないと思う。南国のリゾート感覚で与論島に来ていてのんびり島をサイクリングしたいと思う人もいると思うので、もう少し島全体で観光客を保護することを考えて欲しいと思った。自分には与論島は運転が荒いというイメージがついてしまったが、他の観光客にもそういう悪いイメージがついてしまうとリピーターがあまり増えないのではないかと思った。たまたま私が交通マナーの悪い車にばかり遭遇したのかも知れないが、これは意識を変えるだけなので、せめて観光客の多いメインストリートのあたりだけでも改善して欲しいと思う。運転マナーがよくなるだけで過ごしやすい町になり、観光客はより与論島にいたいと考えるのではないかと思った。

与論島は自然の美しいすばらしい島で、自分の住む町では絶対に見ることのできないエメラルドグリーンで泳ぐといういい経験ができた。また、島の人の温かみを感じることができた。いろいろなところでお茶を出してくれるなどの細かいおもてなしは、与論島のような小さな島ならではのものではないかと思うのでこれからもぜひ続けて欲しい。自分は今回の研修で多くの人にお世話になったし与論島のいいところをいっぱい知ることができたので、この素晴らしさをいろいろな人に伝えたい。